



学校法人 志賀学園
平第一幼稚園
令和3年1月29日

2月の園だより

寒い中にも春の足音が聞こえてくるような今日この頃、お天気の良い日には、園庭に出てラジオ体操やかけっこ、外あそびなど、子ども達は元気に遊んでいます。

縄跳びをしているさくら・すみれ組の子どもたちを見ていますと、日に日に縄跳びが上手になり、もっともっとたくさん回数が跳べる子ども、長い時間跳べる子ども、いろいろな跳び方ができる子ども、毎日縄跳びをして遊んでいる子どもたちなど、いろいろな角度から子ども達の頑張る姿をとらえていきたいと思えます。

昨年の今頃から新型コロナウイルス感染症が流行し始め、そろそろ一年が過ぎようとしています。今年に入り、いわきでも急速に感染が拡大している兆しがありますが、子ども達がなるべく普通に生活ができるよう工夫しながら進めて行きたいと思っています。

鍵盤ハーモニカは一斉に指導を行い、終わるとマウスピースを消毒し乾かすというところを行っています。何よりも衛生・安全に注意を払っています。練習時間にも制限がある中、ドリームコンサートはできる方法を模索しながら、発表につなげて参りますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、2月2日(火)は節分です。立春と節分が例年よりも一日早くなるのは、明治30年以来124年ぶりだそうです。豆まきが行われる節分は例年2月3日ですが、今年は暦のずれの影響で一日早まる珍しい年です。昔は節分は、春になる前日、すなわち立春の前日と立夏の前日、立秋の前日、立冬の前日の日の4回ありましたが、いつの頃からか、旧暦では1年の始まりである立春の前日だけが節分と言われるようになりました。

豆まきの由来は、慶雲705年文武天皇の頃、日本の国に悪い病気が流行し、そのうえ米や麦、その他野菜などが実らなくて困ったことがありました。この時に天皇は、これまでの疾病の流行や農作物の不作は全て鬼のせいだと考え、「福は内、鬼は外」と豆をまいて鬼を払う「追儺式」(ついなしき)を行ったのが豆まきの始まりとされています。数え年(満年齢+1)の数だけ食べると一年間病気をせずに元気に暮らせると言われていますが、先日、消費者庁より「食品による子どもの窒息・誤嚥事故」についての通達がありました。ニュースでもご存知かと思いますが、園だよりのお知らせ欄をよく読んで、気をつけるようにしてください。

また、2月11日は「建国記念の日」です。「建国をしのび国を愛する心を養う日」として1966年(昭和41年)に「建国記念の日」と定められました。忠実に基づく建国された日とは関係なくたんに建国されたという事実をお祝いするという考えのもと「記念日」ではなく「記念の日」となりました。

今年度も残すところ2ヶ月足らずとなりましたが、残り少ない日々を大切にしながら一年の締めくくりを行い、進級や進学への自信と期待を膨らませていきたいと思えます。

吉竹 芳江